東京薬科大学新聞

発行所
東京薬科大学
新聞会
責任者
藤村ゆりか

平成三年度 新入生をむかえて

四月に入り、本学も新入生を迎えた。それにともない、新入生のための各種行事が開催された。学校行事では入学式が快晴のなかで行われた。「新歓祭で最初に始まったのは「新歓キャンプ」。今年も多数の新入生が参加し、なかなかの盛況を見せていた。残念ながら雨のためいまいち人が集まらなかった「由木オリ」も、参加者には好評だったようだ。また、四団体から出品された「春展」、学術部門が研究の成果を発表する「学術研究発表会」等、今や新歓期たけなわと言えるだろう。

入学式

去る四月五日、大講堂体育館において平成三年度東京薬科大学の入学式が行われた。会場の入口ではスーツ姿もまだどこなくぎこちなく、面もちも緊張気味な新入生達へ新入学生名表が配られた。自分の名前があるかどうか心配そうな学生達が、名表に自分の名前を発見して安心するという一面も見られた。式が始まるまでの間はハルモニア管弦楽団と合唱団による演奏があり、十時には予定どうり式が始まった。学長による式辞、新入生代表による宣誓、理事長祝辞、学生自治会代表の挨拶と予定は進み、最後は全員起立しての校歌斉唱だった。一年生はほとんど歌えずただ耳を傾けるだけということもあったが、すべての予定は無事終わり式は終了した。

新入生にとっては新しい生活への良き門出となったであろう。

新歓祭

キャンプ

四月一日から三日にかけ、新入生たちと在校生との親睦を深める為に、大学セミナーハウスにおいて新入生歓迎キャンプが行なわれた。

開会式は新入生の緊張も一瞬のうちにふき飛んでしまうような、先輩たちによるユニークな劇から始まった。そしてそれぞれ個性のある班紹介などがあり、最初からとても楽しい雰囲気に包まれていたといえよう。いつの間にか新入生たちも楽しい雰囲気を作る側にまわっていた。

会場はセミナーハウスに移り、まず同じ班の人たちの名前を覚え、それから様々なゲームをして過ごし、二日目にはそれぞれの班に一人ずつ大学の教授を迎え、大学の話をいろいろと聞いた。

このキャンプによって新入生は入学前から多数の知り合いができ、とても有意義な三日間となったであろう。

春展

文化部門主催の「春展」が今年も四月九日から十二日まで談話室で行われた。今回出品してくれたのは美術部、やきものクラブ、写真部、華道部の四団体。

談話室で談笑する人々にとっては思ってもみないインテリアになっていたようだが、新歓期にあってこれからどのクラブに入ろうか迷っていた新入生には残念なことに宣伝不足のためかから思ったほどの閲覧はしてもらえなかったようである。

いろいろなジャンルの芸術品が気軽に、しかも一度にみれる折角の好企画なのだから来年度からの積極的な活動に期待したい。

由木オリ

四月七日、本学構内において学術部門主催の由木オリエンテーリングが行われた。

昨年度に引き続き、当日はあいにくの雨模様。加えて翌日は女子の身体測定がひかえていることもあって新入生の、特に女子の参加者が目立って少なかった。オリエンテーリングは急きょ室内での移動式ゲーム大会に変更されたが、一日かけて歩き回るには狭すぎる構内のこと、時間が余ってしまうような一面もあった。

自治委員会執行交代

東京薬科大学学生自治会規約第二十九条によると、自治委員会の執行について次のように記述されている。

『自治委員会の任期は四月一日より翌年三月三十一日までの一ヶ年とする。但し、重任・兼任を妨げない。欠員補充は七日以内とし、任期はその残存期間からとする』

ここにある「残存期間」は四月七日の時点ですでに切れている。しかし、自治委員会からは公に何の連絡もなかった。これについては学生のみなさんもお気づきのことであったと思う。前自治会議長である児玉実章氏はこう語っている。

「第一回自治委員会は自治会規約により執行委員長の召集によって開かれるものであり、執行委員長のそれがなければ行うことはできない。つまりそうしない限りは自治委員会は代行のままである。これは規約に違反するが、それは執行委員長の管轄である」

「同規約第二十二条には確かに「当該年度第一回自治委員会は、執行委員長が召集」するとある。執行委員長が召集することは間違いはないが、この場合、執行委員会には何も言わずにひたすら持論を訴えるだけであった自治委員会の対応にも問題があるといえるのではないのであろうか。

今回はおくればせながらではあったが、執行委員長の召集による第一回自治委員会が開かれて事は解決した。しかし現行のままでは自治会規約に矛盾が生じていることになる。規約が規約として存在する為には、これらの改正等の手段が必要であろう。

なお、四月二十五日に第一回自治委員会が開かれ、しばらくの間空白だった自治委員会の役職が決定した。

自治会議長　大木　剛
副議長　古牧　卓雄
（敬称略）

両氏のこれからの活躍に期待したい。

葛西臨海水族園

依然として人気冷めず

今回は東京都江戸川区葛西にある葛西臨海水族園を訪れた。ここは上野動物園の百周年を記念してつくられたものである。

従来の水族館には見られない種々の設備が我々を迎えた。まずは情報試料室である。ここでは世界各地の魚類図鑑やビデオが閲覧でき、専門の係員が魚類につい ての質問に答える。ほかにレクチャールームと呼ばれる施設がある。

ここでは東京の海、または世界の海の資料を立体的な映像で見ることができる。

葛西臨海水族園について真っ先に目を奪われるのはなんといってもマグロの回遊である。ご存知の方も多いとは思うが、大水槽を実際に見てみるとあれだけの数の魚はさすがに迫力があり、壮観だ。

一階の展示物は「世界の海」と題され、北太平洋・インド洋・カリブ海などそれぞれの海域に分けての展示はなかなか興味深いものだ。とりわけカリブ海は色目にも美しく、観客のため息を誘うに十分であった。

ここは一般的にいう「水族館」とは一味も二味も違う。マグロの回遊でもわかるように、概して展示がダイナミックである。水槽の窓もかなり大きくなっていて見やすい。学術的な説明文などはいちいちついていない。知りたければ試料室などでビデオによって見ることができる。従ってここは視覚中心の水族館といえよう。また東京湾の魚や伊豆七島の魚など比較的見近かなところに目をむけている点も特徴的ではないだろうか。

ここにはたいていの大手の水族館では決まって呼びとされているラッコやイルカは展示されていない。それでも入場者が引きもきらないのはだからだ。「新しい物好き」だからだけではないであろう。

JR京葉線葛西臨海公園駅下車、徒歩五分。開園時間は午前九時三十分から午後五時まで。入園料は大人六百円、中学生二百円となっている。

卒業試験

平成2年度本学卒業試験の結果が発表された。

受験者・五百二名
不合格者・十二名
満点・四百点
平均点・二百七十一・三五点

参考だが昨年度の結果は受験者四百六十三名、不合格者十七名、平均点は二百六十・五五点だった。このデータでは昨年度より学生の成績が向上したかのように見えるが、試験問題の違いもあり薬剤師国家試験（四月二・三日）の結果が出るまでは断言はできないだろう（国家試験の結果は一六五号に掲載予定）。

なお学校側は卒業試験で少なくとも六割は得点して欲しいとのことである。

また本学では学生の奮起を促すように、昨年度より卒業時に男女各部と各学科の卒業試験の成績最優秀者計十名に対して賞品を出すことなった。学生の努力を評価するこの制度は今後も継続していく予定である。

薬味

☆「クラムボンがわらったよ。」クラムボンがかぶかぶわらったよ。「太陽の光でね、水底には雲母がきらめき、水面では魚のうろこが金に揺れる。」宮沢賢治が、小説「やまなし」の中でうたったこのような川を現在捜すのは大変難しい。宝さがしにある川の流れを考えてみて欲しい。透明な水の流れを思い描く人が一体何人いるだろうか。最近の子供たちはみんな海の色を深緑に塗るという。もうすぐ川の色もそう表されることになるだろう。現在、川のほとんどは淀んだ流れなのであるのだから☆しかし悲しいことに賢治の「やまなし」っていう意味でも澄んでいる流れと言うものが存在する。それは言うなれば生命が絶滅した流れである。水は澄んでとても美しい。だがそれは「流れ」と呼べるものであろうか☆今から何千年も時を経たそんな遠い将来には、こういった美しいだけで死滅してしまった流れですら存在できないのであろう。そんな時代の子供たちに、賢治の「やまなし」はどんな思いを与えるのであろうか。彼らは何を思い描くのであろうか☆博物館で見る魚たちからその生活や姿形を学ぶことはできても、それがどんなに美しかったのかを知ることは不可能である。いや、色でさえもわからないかも知れない。なぜなら彼らが実際に見ることができるのは化石となった魚たちや、「川」などと表されたプレートをつけたつくりものの小さな水域であるのだから☆誰かが、いつの日にか川がこんなにも美しく生きていたということに気付いてくれるのではないか。こんな願いをもっていることすら、その時代の子供たちには届かないかも知れない。願うことだけが現在の我々にできる精一杯のことであるのだろうか。悲しい顔でそんなことを言っていうちちに今人間は又一つ、かけがえのないものを失おうとしているのかもしれない。

（異邦人）

増加する違法駐車

今年も新歓の季節が過ぎ去ろうとしているが、今号では新歓期間中やたらと多かった違法駐車車両について取り上げる。

新学期にはいろいろなものが新しくなるのだが、大学構内の道路標識や道路表示も新しくなった。これは腐食などして見づらい標識・表示が増えてきていたからでもあるのだが、さらに何カ所か変更や追加の加えられたところもある。たとえば構内道路の最高速度が二十キロになった。以前は三十キロであったのが、重大事故防止や騒音防止などのためこれでも危険であるとして変更した。そして、各門で注意を促しているので知っている学生も多いだろうが、南門、北門の駐車禁止の標識の下に「学生の構内駐停車禁止（許可済院生を除く）」と追加された。些細なことに見えるが、当局ではかなり深刻に受け止めているようだ。

▼違法駐車車両数の実態

以前から違法駐車車両は存在したが、ここ数年その数は異常な勢いで増えている。平成二年度に警告を受けた違法駐車車両数が七四二〇台でその内訳が四輪車四六二三台、バイク二七九七台である。これは八月を除いた数字であるので月平均に直すと、一月に六七五台、四輪車四二〇台、バイク二五四台になる。昭和六十一年度の数字と比較してみると、違法駐車車両数は二三四〇台で、四輪車一一八四台、バイク一一五六台であった。わずか五年の間に総数で三・一七倍にもなっている。このことから学生に自動車を保有するものが増えていること、しかもマナーをわきまえないドライバーが増えていることがうかがえる。

▼違法駐車をめぐるトラブル

実際に違法駐車車両があるとどんな不都合があるのかを次にまとめてみた。

○駐車許可車両の駐車場への出入りが妨げられる。

これはおもに一号道路（百台駐車場）のことである。この左端にはたくさん縦列駐車している車両があるが、元々ここは駐車スペースではない。実際にここの違法駐車車両が邪魔で車を出せなかったということがおきている。

○図書館下の来客駐車場に来客の車の駐車ができない。

当然のように来客駐車場は来客がなければ使われない。それを「空いているから」と学生が駐車してしまうため、来客の車が駐車させられず大変不評を買っている。

○大型貨物車両、工事関係車両、緊急車両の進入が妨げられる。

部室棟付近には搬入車両、救急車等様々な車両が乗り入れて来るが、部室棟付近の違法駐車車両のせいで大型車が進入できないことがよくおきる。大学では授業中に放送で呼び出すことはできないので業者の方には待って頂いている。また、三号館裏の第七駐車場入口は消防自動車の進入路になっているのでこの付近に違法駐車している車両も重大事をまねきかねない。

○緑地などの草木が痛む。

生協裏手から部室棟、変電施設前にかけてよくみられるのが、緑地に乗り上げて駐車している姿だ。一方には緑の手入れをしている人がいるということを果してどう思っているのだろうか。

◎毎年実際に一～二件の物件事故がおきている。また構内における事故の事故処理の対象にならないため、後でいろいろな問題がおこる。

他にもいろいろあるが、特に心配されているのがこの事故の発生である。昨年南陽台で駐車車両の存在が影響したと思われる死亡事故が発生したように、いつ学内でも人身事故がおきてもおかしくはない。学生課でも、研究棟貨物搬入口付近の急カーブの様な危険な場所には絶対に駐車しないでもらいたいと強く語っていた。

▼学生の守るべきこと

学内で違法駐車をしないことに加え、何をすればよいだろうか。学生に対する要望を学生課、施設課、庶務課にうかがったのでまとめてみた。

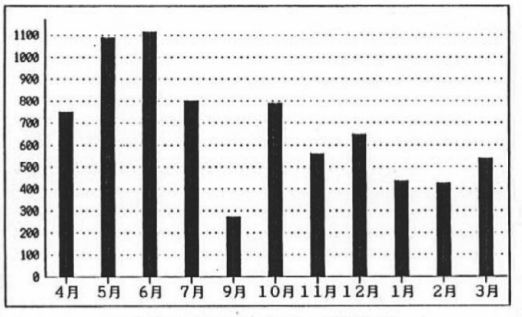
○基本交通ルールを守り、安全運転を励行する。

大学構内は駐車禁止であること、制限時速は三十キロであることなど、もっと注意して行動してほしい。先ほども述べたように人身事故のような重大事故の発生が最も恐ろしい。また、そこに至らないまでも危険を感じさせる行為をすべきではないだろう「安全は全てに優先する」ことを忘れないでほしい。

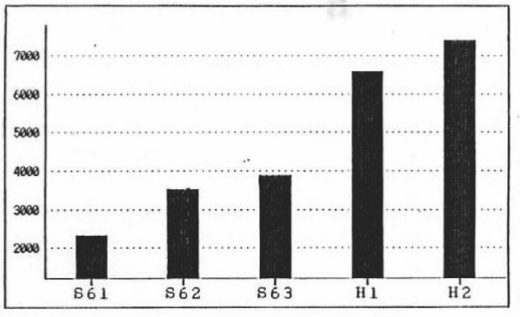
○大学構内に入りたいときは各門の警備員、学生課、庶務課に相談をする。

大学では「どんな場合でも駐車させない」としているわけではなく、例えば怪我などで歩行困難な学生やその付添いの場合は、学生課・庶務課に相談すればよい。また重い荷物等を搬入出する場合などは警備員にその旨を伝えれば入構を許可してもらえる。但しその場合許可を受けた車は速やかに退出するように心がけるのは当然の礼儀だろう。

基本的には通学には公共交通機関を使うべきで、車で来るのなら他に迷惑がかからぬよう配慮するべきだろう。マナーのない大学生だなどと後ろ指さされぬようにしたいものだ。



平成２年度駐車違反警告数



年度別駐車違反警告数

今年度入試状況

東京薬科大学の平成三年度の入学試験は、推薦が平成二年一月二十四日に、一般は平成三年二月五日・六日にそれぞれ行われた。

今回の受験者は男子の一般が千三百七名、推薦が百十八名の計千四百二十五名、女子の一般が千四百六十四名、推薦が三百名の計千七百六十四名で、総計三千百八十九名。

その結果、入学者数は男子四百四十二名、女子三百七十八名であった。なお一般男子の合格者の最高点は二百三十四点、最低点が百四十九点、女子の最高点が二百五十二点、最低点が百八十四点だった。

その中で本学に入学したのは男子二百六十八名、女子二百二十二名からなる四百九十名であった。

忘れ物の行方

あなた傘をお忘れではありませんか？

春は一雨ごとに暖かくなるといわれるように、この時期は雨やはっきりしない天気が多く、念のために、あるいは降り止んだからと傘を持って歩く機会も多かったことでしょう。でもご用心。うっかりすると電車、特に地下鉄の車内で傘を忘れてしまうなんてことが往々にしてあるのです。それでは私達東薬生の利用する中央線に限って、忘れ物がどうなるかを見てみましょう。

電車の内の忘れ物はまず発見された駅に三日間保管されます。そして四日目に東京、三鷹、立川、豊田、八王子の各駅に集められます。その後、発見された日から約六日経つと東京駅は警視庁遺失物センターへ、他の駅は地元の警察署へ忘れ物を引き渡します。そして発見された日から三週間目には、すべての忘れ物が警視庁遺失物センターへ集められます。そこで発見された日から六ヶ月間保管します。その間に持ち主が現れなければ、それらの忘れ物はすべてＪＲの所有物となり、ＪＲに引き渡されます。

忘れ物を探すには忘れた日からその三日目までは最寄りの駅と、あなたの乗っていた電車の終着駅にお電話を。忘れた日の四日目から六日目までは東京、三鷹、立川、豊田、八王子の駅遺失物係へ。七日目から三週間以内なら警視庁遺失物センターか、立川、日野、八王子の警察署遺失物係へ。そして四週以降は警視庁遺失物センターへ。

一日平均三本の傘が二十三区内だけで集まります。警視庁遺失物センターでは名前と電話番号さえ書いてあれば連絡してくださるそうです。あなたのお気に入りの傘にはぜひお名前と電話番号を。

（烏龍茶一茶）

警視庁遺失物センター

ところでこの四百九十名という入学者数は昨年度に比べて三十二人減っており、これは過去五年間の中では二番目に少ない人数になっている。

この受験者数の減少は少々問題である。実はこれは今年だけの事ではない。受験生人口は来年度までは増え続けているはずなのに、昨年、今年それぞれ前年度よりも百十数名ずつ本学の一般受験者が減少しているのである。元々この学校は私立薬科大学の中でも偏差値の高い学校として通っているので、どちらかといえば学力にあまり自信のない受験生に敬遠されているのかもしれないといえる。加えてこのところの学費の値上げもマイナス要因になっているのかも知れない。

しかし学校側としても育てるべき人材に対して妥協する訳にはいかないだろう。難しい問題があるが、本学の経営陣の方々には再来年以降の受験生減少期を迎えても学生の質を落とす事のない斬新な打開策を打ち出し、巻き返しを見せて欲しいものである。

新聞会執行交代

四月一日をもちまして、新聞会の執行が左記のように交代致しました。会員一同、頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

記

会長　藤村ゆりか
副会長　川崎信幸
会計　中村昭夫
大林裕幸
越智隆夫

行事予定

五月十一日　マラソン大会

四月下旬から五月上旬にかけての話題の中心はなんと言うまでもゴールデンウイーク。夏には約一か月の、春には約二ヶ月の長期休暇があるとはいえ、やはり休暇はうれしいものです。

四月二十九日は「みどりの日」。昭和天皇誕生日だったものが祝日改正法案により現在の形となりました。

五月三日は日本国憲法の施行を記念する「憲法記念日」です。湾岸戦争勃発に伴う自衛隊派遣問題等、憲法についても最近はいろいろと論議が交わされているようです。

五月五日は「子供の日」。子供の人格を重んじ、子供の幸福をはかる趣旨で制定されています。もとは端午の節句でした。

せっかくのゴールデンウイーク、有効に活用したいものです。

編集後記

☙風色の花束を　君に贈りたい（売れない詩人）

←え？Ｍ雀やってたからでしょう？あうっそんなに怒らなくてもっ！！（烏龍茶一茶）

☆今回は担当記事が無かったはずなのに妙に忙しかった。何故だあっ。麻雀が忙しかったのではないっ！（ＡＬＣ）

☙文系大学生型ライフって楽しいんだぞ。さみしくなんかないやい！（ムーミン）

▼どうよ調子は？　おうよ！（異邦人）